

和歌索引

凡例

- 一、本文篇に収めた定家所伝本鎌倉右大臣家集の和歌の初句・第四句索引である。
- 二、初句・第四句をあわせて、歴史的仮名遣いにより五十音順に配列し、本文篇の通し番号によって示した。
- 三、ただし、「うめ」「むめ」は「むめ」、「うばたまの」「むばたまの」は「むばたまの」に、それぞれ統一した。

あ	あかすばかりの	三三	あかでやひとの	二四六	あきののに	四〇
	あかつきがたに	四三	あきかせさむ	四六	あさぎりがくれ	三三
	あかつきごとに	四四	あきかせふけ	四五	はなのちぐさに	四九
	あかつきの	四四	あきためて	四五	あきのみそらの	六〇
	しぎのはねがき	四六	あきたもる	三〇	あきのゆふべは	四八
	つゆやいかなる	四七	あきちかく	一五〇	あきのよいたく	三〇
	ゆめのまくらに	三〇	あきちかしとや	一四九	あきのよの	二九
あかでちりぬる	元	一六三	あきならで	一八四	あきはいぬ	二五
			あきのこずゑは	一八四	あきはぎの	二五
			あきのすゑはに	一八四	したばのもみち	二五
			あきのなかばを	一八四	したばもいまだ	一八九
					はなののすすき	一八一
					むかしのつゆに	一三三
					あきははや	一六一
					あきふかきよの	一六八
					あきふかみ	二〇八

すそのまぐず	四九	あしたのはらに	一〇	あまのいはせの	六七
つゆさむきよの	二六	あしのはは	三七	あまのがは	二六
あきもはや	五九	あしのやの	九四	きりたちわたる	一六
あきをつらしと	二五	あしびきの		みなわさかまき	一四
あきをへて	二〇	やまとびこゆる	三五	あまのかはらに	
あくるほどなき	五五	やまのをかへに	三五	あきかせぞふく	一六
あさがすみ	三	やまほととぎす		たづねなくなる	一七
あさちがつゆに	四六	こがくれて	二五	つきかたぶきぬ	一五
あさちがはらに	五九	みやまいでて	二七	あまのつりする	二七
あさちはら		やまよりおくに	五三	あまのとを	三三
あだなるしもの	四七	あだしのの	六〇	あまのはごろも	一七
あとなきのべに	四三	あだなるかせを	四八	あまのはら	
つゆしげきにはの	二八	あだなるのべの	一六	かせにうきたる	四〇
ぬしなきやどの	五〇	あだなるものは	一九	くもなきよひに	一三
ゆくへもしらぬ	四三	あだびとの	五四	そらをさむけみ	二五
あさなあさな	一六	あづきゆみ	五七	ふりさけみれば	
あさにありて	三〇	あづまぢの		つききよみ	二〇
あさばらけ		みちのおくなる	四三	ますかがみ	二七
あとなきなみに	六五	みちのふゆくさ	二八	あまのはらより	一
をぎのうへふく	一五	あとなきにはを	三〇	あまのをぶねの	六四
あさまだき	二五	あとなきのべに	四七	あめふりすさむ	三〇
あさみどり	二四	あなごことし	六五	あめふると	四
あさるきぎすの	四	あなつれづれば	五七	あやなのはなや	三
あしがもの	三八	あはちしま	三九	ありあけの	二八

ありあけのつきに	三三	いくよまでとか	四四	いはねふみ	六三
あきぞのこれる	三三	いくよみやまの	三三	いはほにおふる	五二
ころもうつなり	三四	いくよをへてか	六五	いはまのみづの	八七
まつかぜぞふく	三四	いけのふぢなみ	三〇	いひしばかりの	四九
ありあけのつきの	三六	うつろはぬまに	二〇	いまいくか	一〇〇
ありあけのつきは	一五	うつろひにけり	二九	いまこむと	四六
ありしにもあらぬ	五一	いこまのたけに	三六	いまさらに	四五
ありしむかしの	五九	いしはしる	四三	いましはと	四
ありとてありと	六〇	いせしまや	五九	いまつくる	六三
あるにもあらず	六四	いせのうみや	二四	いまはくもゐの	四〇
あれたるやどに	二五	いそのかみ	五九	いまはしも	一七一
あれにけり	四七	ふるきみやこは	四〇	いまはたおなじ	四三
あをによし	四一	ふるのたかはし	四〇	いもこひしらに	二〇三
あをやぎの	二六	いそのまつ	五九	いもにあはずて	四九
		いたくこだかき	五九	いりあひのかねに	二七
い		いたくななきそ	四一	いりあひのかねの	一三
いかにして	三七	いたくなふけそ	五九		
いかにせよとか	三六	いたくなふりそ	五九	う	
いかにたづねて	五五	いたくはしもの	元	うきことあれや	六〇
いくかへり	六八	いちしのうらに	二六	うきことのはの	四〇
いくちよまでにと	六八	いづかたに	二四	うきしづみ	四四
いくへのきりを	三三	いつかとまちし	一五	うきてたゆたふ	五〇
いくよのあきの	五八	いづくにて	六〇	うきてやものを	三八
いくよへぬらむ	五七	いつしかなかむ	二八	うきなみの	三九

うぐひすのみや	四〇	うらとはなしに	三七	おぼつかなきを	三七
うぐひすは	三	うらみてふくる	二五	おははらや	五三
うしとやいはむ	六九	うらむるかぜの	四九	おぼろづきよの	八五
うたたねの	一四〇	うれはかくれて	一三	おぼろにかすむ	四二
うちたえて	六七	え	四三	おもはずいまも	六三
うちつけに	三〇	えだもとををに	三七	おもひいでて	六三
うちなびき	六	お		むかしをしのお	五二
うちはへて	一七	おいぬれば	五八	よるはすがらに	五六
うちはへてのみ	六五	おいらくの	四七	おもひいてもなき	五三
おつるたきかな	四六	おきあへずいろの	五八	おもひきや	四〇
こひやわたらむ	九	おきたるつゆの	四三	おもひしとけば	六三
うちはらふそでの	六二	おきてしゆけは	六三	おもひたえ	四九
うちわすれ	五九	おきつしま	五八	おもひのみ	四九
うつせみの	六〇	おきつなみ	四四	おもひみだれて	五三
うつつとも	六八	おきのこじまに	五八	いこそねられね	五三
うつのやまかせ	五八	おくやまの	六九	ほにぞいでぬる	三八
うつらなく	四二	いはがきぬに	三六	おもひもいでは	六五
うつろふあきの	二六	いはねにおふる	六九	おもふころの	五八
うつろふはなに	二〇	こけのころもに	六三	おやもなきこの	六八
うはげしをれて	二八	こけふみならす	四三	か	
うばたまの↓むばたまの	四三	すゑのたつきも	四九	かうべはやまの	五七
うはのそらに				かかるすがたに	五五
うめ↓むめ				かかるをりも	六四

一四八
二四一
五〇五
六〇九
三九五
五一〇
三二〇
三四一
六四五
三六六
三三
四九四
六五九
五四二
三七六
五七九
九
一四八
四一〇
五四三
六四〇

二九八
五〇〇
七三三
七四四
一七六
三三三
一二三
六七七
八八九
四六一
一五〇
五二九
三〇〇
三〇一
二九八
大
五九二
四六六
一二六

三四五
二四七
一四八
一六九
一〇九
六五九
六四七
六二八

二七五
二八〇
二八一
二八五
二八二
三一二
四九七
四三三
四三三
六五五
五一〇
六三三
三三二
五六

二四〇
二六一
二六三
二六〇
二三八
二八三
一四
二四〇
三〇三
四六二
三八四
四二二
一一一
四二一
六二二
一四四
二二八
一七九
一五五

こむとたのめて	四六	さくとみしまに	六	さむるまちける	一五
ころしかなし	三五	さけるやまちや	六四	さよふくる	三六
ころもでさむし	一五	ちらばをしけむ	六	さよふけて	三〇
あきのはつかぜ	二五	ちらまくをしみ	六	いなりのみやの	三〇
よやふけにけむ	二九	ちりかひかすむ	六五	かりのつばさに	三〇
ころもでに	二九	さけばかつ	六	くもまのつきの	三〇
こゑうらがなし	一〇	さけるあたりは	六	なかつたけゆく	二六
こゑききしより	一〇	ささがにの	一六	はすのうきはの	二六
こゑきくときぞ	三六	ささなみや	一六	さりともと	二六
こゑたかみ	三九	しがのみやこの	六	おもひしほに	二六
さ	二〇	ひらのやまかせ	六	おもふものから	二六
さえたるよはに	三〇	ささのはは	三三	みづまさるらし	二六
さきてたてりと	三〇	さそふかつきを	三三	よのふけゆけば	二六
さきてはちりぬ	三〇	さだめなきよに	三三	さみだれの	二六
さきにけり	三〇	さつきまつ	三三	くものかかれる	二六
さくとみしまに	三〇	さつきやま	三三	つゆもまだひぬ	二六
さくほどもなく	三〇	こだかきみねの	一六	さみだれは	二六
さくやかはせの	三〇	このしたやみの	一六	さみだれを	二六
さくらにくもる	三〇	さつきやみ	一六	さむきしもよを	二六
さくらばな	三〇	おぼつかなきに	一六	さむきよなよな	二六
うつろふときは	三〇	かみなびやまの	一六	さむしろに	二六
さきちるみれば	三〇	さてもこのよを	一六	いくよのあきを	二六
さきてむなしく	三〇	さてもたちにし	一六	つゆのはかなく	二六
	三〇	さとはあれて	一六	ひとりむなしく	二六

したもみぢ	二八二	しろくぞみゆる	三三三	まつとせしまに	四七七	た	六七
したゆくみづの	四九〇	しろくもしもの	三二〇	まつのこかくれ	四七一	だいにちの	六七
しづめるころ	四九〇	しろくもはなの	五〇四	すみをやく	五五五	たえずきつる	三三三
しながどり	五三四	しをれてのみや	五〇四	すむひとの	一五九	たえだえつきの	三三三
しのびあまり	四二七	す	せ			たえだえつきの	六〇二
しのぶぐさ	四六八					たえまにみゆる	三〇六
しのぶやま	四三三	すぎがてにのみ	九四	せきあへぬそでを	四三三	たかきこの	三三三
しばしとどむる	四三三	すぎにしことは	六三三	せきいるるみづに	一三二	たかしのやまに	三七一
しばしとどめむ	三三八	すぎのはしろく	三二	せきちにほふ	五〇四	たかまのはらに	三三七
しほがまの	三三八	すぐせるやどは	四〇	せきのをがはは	三〇三	たかまの	六九八
うらのまつかせ	三六六	すぐるほどなき	四〇	せぜのいはなみ	四〇五	たかまどの	三三
うらふくかせに	二二	すぐかけごろも	六四八	せみのをがはの	三六九	たきすきびたる	六九
したばおしなみ	一七五	すぐかけの	六四八	そ		たきのうへの	三
しらがといひ	五八一	すそのつゆに	五七	そでにしられぬ	三〇九	たこのうらの	一〇八
しろくもの	四〇五	すまのあまの	二五	そでぬれて	一三三	たこのうらの	五〇九
しらじなしげき	四〇	すまのうらに	三九三	そでまくら	三三	たそかれどきに	三八
しらすいくよの	五〇	すみがまの	三九	そでよりすぐる	五三	たそかれどきの	三八
しらつゆの	一七	すみのえの	三九	そぼちてはなぞ	二九	たそかれに	一八六
しらなみの	五〇	きしのひめまつ	五八	そらとばかりの	二七	ただいたづらに	二〇六
しらぬのはらの	五三	きしのまつふく	五八	そらとばかりの	三三	ただこのごろの	五八
しらまゆみ	五〇	まつことひきに	四七	こゑもかなしや	三三	たたるにしあれや	五八
しらやまに	四六	すみやくおきな	三八	ねになきぬべし	四七	ただわがための	一八五
しらゆきの	四六	すみよしの	三八	そらやうみ	六〇	たちいでてやまの	二四
しるもしらぬも	三六	おふてふまつの	三六	それをだに	四七	たちかへり	二四

みてをわたらむ	一〇七	よはのかたしき	三二	ちりゐるきしの	一〇三
みれどもあかず	一〇三	たびとしおもへば	五二	ちりをだに	三三〇
たちかへるらむ	四九	たびねする	五五	ちるこのもとに	四
たちのぼる	三九	たびのそら	五六		
たちよれば	五三	たびをゆきし	六六	つ	
たちわかれ	六三	たふをくみ	六六	つかのまもなし	三三
たつたのかはに	二八	たへでやしかの	二六	つきいでてみるに	一八
たつたのやまの	四〇	たまくしげ	六六	つきかげさむし	二四
たつたのやまは	二六	たまこきちらす	二六	つきかげの	二九〇
いろづきにけり	二六	たまさかに	二二	しろきをみれば	三七
もみちしぬらん	二六	たまさかにだに	四三	それかあらぬか	四二
たづねても	六二	たまだれの		つきかげも	
たづねみる	五五	こがめにさせる	三六	つききよみ	二四
たづのゐる	六〇	こすのひまもる	二〇	あきのよいたく	二九
たとひけぬとも	三七	たまつしま	五七	さよふけゆけば	一七
たなばたに	四三	たまとみるまで	四六	つきさえわたる	四八
たなばたの	一七	たまぼこの	五二	つきさへあやな	六六
たのめこし	五七	たまもかる		つきさゆる	六六
たのめてなみの	六六	るでのかはかせ	一〇五	つきになれにし	四三
たのめぬやどの	四九	るでのしがらみ	一〇六	つきにものおもふ	三二
たびごろも		たまものどこに	五七	つきのすむ	
うらがなしかる	五七	たまればきえぬ	一七	いそのまつかせ	五五
すそのつゆに	五八	たゆたふころ	四六	きたののみやの	六五
たもとかたしき	五四	たよりにつけて	六七	つきのみやこに	三〇

つきのみやこの
つきみれば
つきをのみ
つねにみまくの
つのくにの
つばさにわくる
つばさのつゆに
つばさのなみに
つまごひすらし
つまこふる
つまにこひつつ
つまむかへぶね
つもりつもりて
つもればさむし
つゆしげみ
つゆののきばに
つゆのやどりに
つゆのやどりを
つゆよりしげき
つゆをおもみ
つゆをかたみに
つゆをたづねて
つるのをか
つゑにすがりてぞ

三三
三二
三九
五一
四六
三四
三三
三三
一四
一五
三三
四二
一六
四七
三四
五五
四七
一六
四七
三三
五五

と

とかへるやまに
ときにより
ときのまと
ときはにものを
ときはのもりの
としごと
としつもの
としにまれなる
としのくまじき
としのはやくも
としふとも
としふれば
おいぞたふれて
さむきしもよぞ
やどはあれにけり
とにかくに
あなさだめなの
あればありける
とはでいくよの
とふひとあらば
とふべきものと
とへどこたへず

三三
三九
六九
五五
三〇
三三
三三
三九
四二
五三
五二
四九
五八
三三
三三
六二
四三
四九
一〇

とほざかればや
とませのやまに
ともなきしかの
ともなきやまの
ともになきぬる
とやまのもみち
とよくにの
きくのそまつ
きくのながはま
とりもあへず
とをちのさとに
な
ながきよすがら
ながつきの
ながつきのよの
ながながしひを
なかなかに
なかなるしまの
ながむれば
ころもでかすむ
ころもでさむし
さびしくもあるか
ながめこし

四四
三三
五〇
二四〇
四九
二八〇
五九
五九
三九
四八
三〇
三三
五八
三三
五九
二六
三三
二二

ながめつつ
ながめやる
ころもたへぬ
のきのしのぶの
ながれてきえぬ
ながれてはやく
ながれゆく
なきわたる
なくしかの
なくなるこゑの
なくねかなしき
なくはつこゑの
なくはつこゑは
なくはむかしの
なげきわび
なしとてもなき
なつごろも
たちしときより
たつたのやまの
なつはただ
なつふかき
なつふかみ
なつやまに
なでしこの

七
三三
一四
六
三三
二九
三九
三三
二九
二六
七
二四
三九
六二
六二
六二
二二
一八
一四
四九
二五
一四
四三

などあふことの
 などかおもひの
 などかむかしを
 なにしおはば
 いざたづねみん
 そのかみやまの
 なにはがた
 あしのはしろうく
 うきふししげき
 うらよりをちに
 こぎいづるふねの
 しほひにたてる
 みぎはのあしの
 なびきおきふし
 なびくあさちの
 なみだこそ
 なみだしをれて
 なみだのあめの
 なみにしをれて
 ならのはがしは
 なりみてしがな
 なりもならずも
 なれしむかしの
 なれてもうとき

四六八	なをむつまじみ
四六三	に
五九七	にはくさに
四四四	にはのおもに
四四四	にはのみづうみ
三〇八	ぬ
六〇三	ぬしはふりにし
四三九	ぬるとないひそ
五五三	ぬるともをらむ
三二五	ぬれてをる
三八二	ぬれはひづとも
四六六	ね
四〇七	ねもころころに
四九八	の
二九五	のきばのむめの
六五〇	のきばのむめは
三二六	のちもあひむむ
二八一	のどかにつきの
五九	のとなりて
五五三	のなかのいはに
四四九	
六五五	

一五	のなかのまつよ	三六	はかなくてのみ	二五	はかなきゆめの	二七	のべともみえず	二八	のべのかすみも	二九	のべみれば	三〇	のべわけぬ	三一	は	三二	はかなきゆめの	三三	はかなくて	三四	くれぬとおもふを	三五	こよひあけなば	三六	はかなくてのみ	三七	はかなくはるの	三八	はかなのとしや	三九	はきがはな	四〇	はぎのしたばは	四一	はぎのはな	四二	はごとにちよの	四三	はこねちを	四四	はこやのやまの	四五	はこやのやまの
----	---------	----	---------	----	---------	----	---------	----	---------	----	-------	----	-------	----	---	----	---------	----	-------	----	----------	----	---------	----	---------	----	---------	----	---------	----	-------	----	---------	----	-------	----	---------	----	-------	----	---------	----	---------

五九二 はしたかも
四九七 はしるゆの
一六二 はちだいらゆうわう
五 はつかにみてぞ
一七九 はつかりの
二六〇 はつこゑを
一九 はつしぐれ
二五七 はつせやま
五八 はなすすき
五八 はなぞむかしの
六二 はなちるきしの
六二 はなちるさとの
二七二 はなとつきとを
五三 はなにあかずと
四六 はなにおく
一三 はなにより
一三 はなのあたりに
四七 はなのしづくに
一五 はなのたもとを
四一 はなのやどりを
一八 はなはむかしの
五八 はなふみしだき
六三 はなみるみると
六三 はなもむかしの

三三七
六四四
六一九
三七八
二六二
一二三
二七九
二七四
二八七
九〇
一〇三
一四一
三三三
一九四
一七七
四六三
六六
四七
一六
四九
三一
一九二
五五
六二

はなよりすぐる	二七	まつさくやどの	四三	よるのつゆは	三〇
はなをうらむる	二八	はるさめに	四三	ひとりやねなむ	三〇
はなをばやどの	二八	はるさめの	四三	ながきこのよを	三〇
はなをみむ	二八	つゆのやどりを	四三	よるのころもうすし	三〇
はにおくつゆの	二八	つゆもまだひぬ	四三	ひとりやまべを	三〇
はねかくまなく	二八	はるさめは	四三	ひとりゆく	三〇
はねしろたへに	二八	はるすぎて	四三	ひのいるときの	三〇
みゆきふるらし	二八	はるたたび	四三	ひはらがみねに	三〇
ゆきはふりつつ	二八	はるといひ	四三	ひまもるかせを	三〇
はまべなる	二八	はるともしらぬ	四三	ひむがしの	三〇
はやくしるしの	二八	はるのきて	四三	ひめしまの	三〇
はやくはかみの	二八	はるはくれど	四三	ひもゆふかせに	三〇
はやくもあきの	二八	はるふかみ	四三	ひらのやま	三〇
はやくもけふの	二八	あらしのやまの	四三	ひろせがは	三〇
はらのいけの	二八	あらしもいたく	四三	ふ	三〇
はらへただ	二八	はなちりかかる	四三	ふかきころの	三〇
はるあきは	二八	みねのあらしに	四三	ふかきみねより	三〇
はるがすみ	二八	はるむなしき	四三	ふかきやまちに	三〇
はるかぜは	二八	はるやあらぬ	四三	ふかくきの	三〇
はるきては	二八	はるればくもる	四三	ふきあげのつきに	三〇
はるくははれる	二八	はれずものおもふ	四三	ふきあげのはまに	三〇
はるくれば	二八	はれゆくそらの	四三	ふきあげのはまの	三〇
いとかのやまの	二八		四三	ふくかせの	三〇
なほいろまさる	二八		四三		三〇

ふけにけり	三〇四	かはづなくなり	五七	なぐやさつきの	五八六	まだみぬつきに	五七
ふじのたかねの	三〇四	やどるつきかけ	五八四	まつよながらの	五九六	まだみぬひとに	五九三
ふじのねの	四九二	ふるきまがきに	三三三	ほにいづるやどの	一八七	まつうぐひすは	一三
ふしみのさとに	四八八	ふるさとに	三	ほにいでしあきも	四二五	まつとつげこせ	六九
ふしみのさとも	六〇〇	ふるさとに	三	ほにいですしも	三八三	まつとはまたじ	六三
ふたぐにかけて	六〇〇	あさちがつゆに	四七〇	ほにいであたき	四八	まつにいくよの	三〇
ふちばかま	一八〇	いけのふちなみ	一〇九	ほにしあらねば	四四	まつにぞなつの	三三
ふみみぬさきに	三六	すぎのいたやの	四七五	ほのかにかよふ	二五〇	まつのはの	八
ふゆごもり	三六	もとあらのはき	一八二	ほのかにのみや	三七三	まつはもまたび	三九
それともみえず	三二	ふるさとに	三二	ほのかにひとを	五九三	まつひとは	四六
なちのあらしの	五八四	うらさびしとも	三二	ほのかにみえて	三七七	まつむしのねに	四七
ふゆふかきよに	二九	みしごとあらす	三三	ほのはのみ	六五	まつよひの	四八
ふゆふかみ	三三	ふるさとは	三	ま	三〇	まつよふけぬる	三〇〇
こほりにとづる	三三	ふるでらの	三	ま	三	まてとしも	三〇〇
こほりやいたく	三二	ふるゆきを	五七	まがきのきくの	二五	たのめぬひとの	四六
ふらぬよも	二七	は	三	まがきのしまに	二六	たのめぬやまも	四九
ふりつもる	三六	はしあへぬつゆの	二	まきのそまびと	三三	まどほになりぬ	四七
ふりにける	三六	はとときす	二	まきのそまやま	三三	まなくものおもふ	五〇八
ふりにしきとに	五九三	かならずまつと	二	まきのとを	三三	まのはきはら	一七
ふりにしきとの	三三	きくとはなしに	二	まきのはがくれ	三三	まばらなればや	五七
あきはぎのはな	三三	きけどもあかず	二	まきもくの	三三	ままのつきはし	五九
ゆきのゆふぐれ	三九	きなくさつきの	四〇〇	まこもおふる	五八	まれにきて	五九
ふるきしみに	三九	なくこゑあやな	四三	まだふるとしの	三二	きくだにかなし	五七
						まれにやどかる	五八

しほかせさむし	三八	よしののおくの	三三	よるのころもの	あはでふるのの	四六
すずふくあらし	三三	よしののおくも	六〇	うすくやあるらむ	あまのはらとぶ	四八
のちのかるかや	一九	よしののたきの	七	すそあはずして	かごのわたりの	四六
ゆふづくよ	六五	よしののたけに	三三	よるはすがらに	なつののすき	四四
さすやかはせの	六五	よしののみやに	三	よろこぶものあれば	はつやまあぬの	三七
さはべにたてる	二六	よしののみやの	四	よろづよかけて	みやまのまつに	四二
さほのかはかせ	二九	よしののやまは	五	よろづよに	もししまめぐる	五〇
みつしほあひの	二五	ただはるのかせ	五	よろづよふとも	わがころもでに	五〇
ゆふべのあめに	二九	はるやなからむ	七	よろづよふべき	しもぞおきける	六三
ゆふべのあめの	二九	よしやひとみず	六	よわたるつきに	つきぞなれぬる	五一
つゆぞこぼるる	八	よそにききつつ	四九	よをさむみ	はなはちりつつ	五
つゆののこれる	八	よそにみて	一五	うらのまつかせ	わがそでに	四三
ゆふべはことに	一四	よなよなしもや	二八	かはせにうかぶ	おほえずつきぞ	四三
ゆふやみの	二〇	よなよなめをも	一三	かものはがひに	かをだにのこせ	元
ゆふるるくもに	二〇	よにふれば	六三	ひとりねぎめの	わがそでの	四〇
ゆめかうつつか	二五	よのなかに	六三	よをながみ	わかなつむ	二〇
なつもくれにけり	二五	よのなかは	六四	わ	わがねぎめとふ	五〇
はるのやまかせ	八	かがみにうつる	六四	わがいほは	わがみひとつと	五〇
ゆめかとおもひし	五〇	つねにもがもな	六四	わがいかど	わがやどの	五〇
ゆめちになすし	一五	よぶかきそらに	三九	わがかくの	ませのはたてに	五三
ゆらのみさきの	一五	よぶかきつきの	二七	わがくにの	むめのはつはな	二
よ		よぶかきむしの	二七	わがころ	むめのはなさけり	元
よしのがは	二四	よものやまべに	三	わがころから	やへのこうばい	三
		よるのころもに	一五	わがこひは	やへのやまぶき	六

わがやどをとふ
 わかれにし
 わきこそかへれ
 わくらばに
 わすらるる
 わするなとだに
 わたくしあれや
 わたせるはしに
 わたつうみに
 わたつうみの
 わだのはら
 わびしきまでに
 われいくそ
 われさへあやな
 われぞおほくの
 われどものおもふ
 あきのゆふべは
 ゆくへしらねば
 われてくだけて
 われながら
 われのみぞ
 われのみひとり
 われのみや
 われはしかおもふ

二六	われはふかめて	四一
四七	われゆゑに	三二
四三	る	
五五	るでのわたりに	九七
四〇	を	
六六		
二九	をぎのはそよぎ	一八
五三	をざさはら	
六二	おくつゆさむみ	四七
三三	よはにつゆふく	三〇五
五二	をしかふす	四〇
五五	をしみこし	一七
一九	をしむとも	二六
六	をてもこのもに	六九
	をとこやま	三五
二二	をののやまへの	二〇〇
五五	をのへのかねの	三〇
六二	をのへのしかの	一九
二二	をのへのみやの	一六三
五九	をばすてのつきに	二四三
六〇	をばすてやまの	二四一
一八七	をらではゆかじ	一〇八